



渡辺 優子 (公明党)

医療費(薬剤費)の負担削減

質 年間の国民医療費は30兆円を超え、そのうちの約30%が薬剤費である。後発医薬品いわゆるジェネリック医薬品の啓発で、患者負担の軽減と医療保険財政の改善を図るべき。

答 後発医薬品の利用者がふえることで、調剤費が抑制され、国保財政の負担軽減、後期高齢者医療制度の医療費や生活保護に伴う医療扶助費の抑制、患者負担の軽減などから、市では利用者の増加を図る施策を推進していきたい。各医療機関へはチラシを送付し、後発医薬品の理解と協力を求めることとしている。

子育て支援

質 子育て家庭の孤立化を防ぎ、社会全体で子育てを応援できるように赤ちゃんと一緒の外出の際、おむつかえや授乳の際に立ち寄り利用できる「赤ちゃんの駅」を設置すべき。

答 赤ちゃんの駅としての機能の設置は徐々にふえてきており、本市の公共施設への設置状況は柳町ポケットパークや市庁舎、総合体育館などで、設置場所に「おむつ替えシートがあります」というシールを貼って、利便性に努めている。公共・民間を問わず、子育て支援機能がさらに充実されるよう努力していきたい。

その他の質問事項

- ・地上デジタル放送への移行推進
- ・ペット霊園とドッグランの開設



薩摩 博 (よねしろ会)

市営住吉町住宅建替事業

質 住吉町住宅は鉄筋コンクリート(RC)造の買い取り方式(BT方式)で、母子生活支援施設(松原ホーム)は木造耐火構造で整備したいとのこと。その経緯等については。

答 これまで、事業手法や構造について、総事業費や単年度財政支出、木造耐火構造の波及効果等の検討を重ねてきた。結果、住宅の木造耐火構造はRC造と比較して8億3400万円割高となること。母子生活支援施設はRC造と比較して割高になるが、波及効果等を総合的に検討した結果、木造耐火構造との結論を得た。

県銘木青年会「木都のしろ木の市」開催

質 今回のイベントは暗中模索の中、消費者が足を運んでくれるのが大きなテーマであったが、予想以上の来客で、次回に向け大きな手ごたえを感じ、市としての協力指導を賜りたい。

答 市としても次代を担う若手後継者の活動のお手伝いを積極的に進めたいと考えている。木材総合展示館では、相談展示販売品の常設が可能と聞いているし、銘木センターでも各市の前にイベントの開催を探っている。開催費の助成は、県市とも来年度事業を取りまとめ中で今後の状況を見て考えていきたい。

その他の質問事項

- ・東北森林管理局の天杉一般公売
- ・木質バイオマス発電所の原料確保問題
- ・中小零細業者に対する資金繰り相談



畠 貞一郎 (大河・生々・みどりの会連合)

まちづくり条例の制定

質 自治の最高規範性を定めるまちづくり条例を制定することにより、地域の特性にあったまちづくりを実現でき得ると考えるが、クリアしなければならぬものは何か。

答 自治の最高規範性等は、市の最上位計画である総合計画基本構想に基本姿勢や基本理念などの形で示されている。土地利用も現行制度の中で十分対応できる。法令等の範囲内という制約がある中で新たな条例の制定には、市民の気運醸成と自治意識の盛り上がり等が不可欠であり、必要性を含めて、研究していきたい。

イオン出店問題

質 イオン側に出店に関するスケジュール等の説明を求めているのか。出店するかしないかにより都市計画マスタープランの策定や中心市街地活性化協議会等に影響はでないのか。

答 今月2日、イオンの担当者が市を訪れて、出店の考え方に変わりはないと明言している。都市計画マスタープランの策定については、出店計画の変更等の意向は示されておらず、出店を前提に作業を進めている。中心市街地活性化推進協議会はイオン出店の有無にかかわらず活性化は必要と考えて協議を進めており、影響はない。

その他の質問事項

- ・雇用・景気対策